

# 我が国の地球低軌道活動の充実・強化に向けた取組の方向性(案)【概要】

(第12期 国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会における議論の整理)

資料68-1-3  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
ISS・国際宇宙探査小委員会  
(第68回)

## 1. 意義と検討の背景

- 地球低軌道活動の意義
  - ✓ 国際宇宙ステーション(ISS)参加による有人宇宙技術獲得、知の創造・社会課題解決、新ビジネス・サービス創出、人材育成、国際協力
- 今後の地球低軌道活動～ISSとポストISSの見通し～
  - ✓ 2030年頃のISS運用終了
  - ✓ 米国では民間が次の宇宙ステーションを管理する方針
- 国内もポストISSは、民間主体への移行を想定
- ➡ 持続的・安定的な地球低軌道活動に向けた準備が必要

## 2. これまでの成果と課題

- 地球低軌道活動での様々な成果創出と価値提供
  - ✓ ISS日本実験棟「きぼう」での宇宙環境利用、宇宙ステーション補給機「こうとり」、日本人宇宙人飛行士の活動、科学的研究成果の創出、商業利用拡大、国際協力、人材育成・理解増進等
- 今後の利用充実・拡大に向けた課題
  - ✓ 所要コスト・時間、手続、機会・頻度、事業成立性、ニーズ適合性等
- ➡ 現行ISSを使い尽くして、ポストISSへ移行することが必要

## 3. 今後の地球低軌道活動の充実・拡大に向けた取組方策

### (1) 基本的考え方

- ✓ 民間主体の活動を促進
- ✓ ISSと今後のポストISSの利用を連続的・一体的に検討
- ✓ 民間事業者が次の宇宙ステーションの管理等を行い、(我が国は)JAXAが利用サービス調達(技術実証や科学的研究等)でそれを支える

### (2) 取組の考え方 (①②③の3本柱)

#### ①地球低軌道利用での研究力・イノベーション創出力の強化

- JAXAの科学研究・イノベーション創出機能強化
  - ✓ JAXAラボ機能
  - ✓ オープンイノベーションハブ機能
- 大学等の地球低軌道を活用した研究の推進機能の強化
  - ✓ 基礎・基盤的研究支援機能
- 等

#### ②地球低軌道利用での多様な主体の参加拡大と商業的活動の発展

- 民間主体の先端技術・ユースケース開発への支援
  - ✓ オープンイノベーションハブによる橋渡し機能
  - ✓ 先端技術支援
- 地球低軌道活動に対する民間事業者への予見性確保
- 多様な主体、民間による地球低軌道活動への参加のためのJAXAの助言機能強化・外部委託の推進
  - ✓ 民間事業者の活用推進
  - ✓ 技術的助言機能

#### ③我が国の地球低軌道活動を支える総合的基盤の整備・強化

- 宇宙飛行士を含むJAXA有人宇宙活動・宇宙環境利用研究に関する技術実証
- 参加・利用拡大のための機運醸成
- 教育的利用・理解増進等を通じた次世代人材育成 (インターフェース人材・JAXA人材育成等)
- 国際調整を含む制度的基盤の検討・整備
- 取組方策全体のプログラム推進体制の構築

## 4. 各主体の役割の考え方等

- 企業、大学等、JAXA、国(政府)の役割の考え方を記述 ➡ 状況変化に応じて不断に改善